



～やればできる～

# 伸びゆく我ら

【3月の生活目標】おむすびそうじをがんばろう！

令和5年3月24日発行

最終号

文責：校長 石橋博道

## 別れと出会いの季節！

さて、春は“別れの季節”。79名の6年生が卒業し、14名の教職員が伊良林小を去っていきます。旅立つ者も残される者も、たくさんの思い出を胸に…。なんとも、もの悲しい気分になります。

しかし、春は“出会いの季節”でもあります。4月には、75名の1年生が入学し新しい教師が着任します。新たな出会いとともに、それぞれのステージで新たな一歩を踏み出す季節です。令和5年度が今年度以上に素晴らしい1年となるよう頑張りましょう。

## 卒業おめでとう！第76回卒業証書授与式

去る16日、76回目の卒業証書授与式を滞りなく執り行うことができました。今年は、4年ぶりにご来賓の皆様をご招待することができました。田上市長様にもご臨席いただき、保護者、在校生、職員に見送られながら、79名の卒業生が立派に巣立っていきました。素晴らしい卒業式になりました。

私からは、はなむけに、本校のモットーである『やればできる』を体現した2人の人物を紹介しました。以下、要約です。

1人は、江戸時代の米沢藩主上杉鷹山です。『為せば成る為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり』という言葉で有名ですが、藩の財政が最悪の中、15歳で藩主となった鷹山は、自身の生活を切り詰めながら、10年先、20年先を見据えて、田畑を拓いたり、米を備蓄したりして、藩のかじ取りをしました。天明の大飢饉の際でも、一人の餓死者も出さなかったと言われていました。また、アメリカのケネディ大統領が、最も尊敬する日本人として上杉鷹山の名前を挙げたこともよく知られています。

2人目は、本県出身の体操の内村航平選手です。彼は、「『できない』ではなく、『どうやったらできるか。』』ということを常に考えていた。」と言っています。うまくいかないことがあっても、あきらめることなく、良いと思ったことはすぐに実行したそうです。その結果、オリンピック2連覇、世界選手権6連覇という偉業につながったのです。

名君と言われる上杉鷹山、「キング」と呼ばれた内村選手、この二人の言葉は、「夢や目標を実現するのは、決してたやすいことではないが、実現しようという強い意思をもって努力することが大切だ。」ということを教えてください。

『やればできる』という伊良林の合い言葉を忘れず、夢に向かって邁進してください。わたしたちは、いつまでもあなたたちを応援しています。卒業おめでとう。

そして、5年生以下の在校生の皆さんも『やればできる』の精神を忘れずに、120年という本校の歴史と伝統を受け継いでいってけると信じてます。



## しっかいとほめてあげてください！

本日、子どもたちに**修了証書**を渡しました。通知表の最後に綴っていますのでご確認ください。お子さんがその学年の学習をきちんと修了した証です。そして通知表には、この1年間の学習面の頑張りだけでなく、生活・行動面の良さも記されています。今一度、1学期から見直し、きちんとほめてあげてください。もちろん次の学年で、頑張るところを確認することも大切です。ぜひお子さんと一緒にこの1年をふり返ってみてください。

なお、5年生の3学期の評価の横に記載している評定は、1年間の総合評定ですので、3学期の評価だけが反映されたものではないということをご理解ください。

## お願い

本日お配りした「**春休みの暮らし方**」にしっかり目を通してください。基本的に夏休み、冬休みと変わりません。規則正しい生活を心がけること、ルールを守った行動をとることをご家庭でも指導していただくと幸いです。特に、ゲームやSNSなどについては、ご家庭で十分にご指導ください。

新型コロナウイルス、インフルエンザなどの感染症についても、まだまだ油断できません。感染症をはじめとする病気にかからないよう、そして事件や事故に巻き込まれることがないように、特に健康面・安全面には御配慮ください。始業式の日、全員の元気な顔がそろうことを願っています。

春休み中に、万が一、事故に遭われた場合は、学校まで連絡してください。

伊良林小学校 TEL 095-822-5135

## ありがとうございました。

令和4年度をなんとか終えることができました。ちょうど3年前に、全国一斉の臨時休校となり、コロナ禍が始まりました。あたりまえのことができない状態、そして、いつ感染するかわからないという不安な状態が、このように長期間に渡って続くことが、いかにつらいものかということを実感した3年間でした。

今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、そのような中、そして保護者の皆様のご理解とご協力を得ながら、様々な工夫を凝らしながら乗り越えることができました。おかげで、伊良林っ子は皆、順調に成長しました。とはいえ、長い1年の間には、私たち教師の力不足の面もあり、ご心配をおかけし皆様のご期待に十分応えられなかったこともあったかと思えます。どうかご容赦願います。

次年度以降も、新しいスタッフで、さらに教師力・学校力に磨きをかけ頑張っていく所存ですので、これからも変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。1年間本当ありがとうございました。

最後に……。私事ですが、この度定年退職となりました。この2年間、公私にわたり温かく接していただき誠にありがとうございました。私にとっては、最後に伊良林小学校に勤めることができ、本当にうれしかったです。最後の学校で、思いつき頑張りとう張り切っていたのですが、2年間という短さに加えて、コロナ禍のために様々な制約から十分に貢献できず残念でなりません。最後の年が本校創立120周年という記念の年だったために、「教育講演会」「新校舎空撮」そして「120周年記念フェスタ」という事業をPTA、保護者の皆様のご理解とご協力の下やり遂げることができたのが良い思い出です。

またお会いすることもあろうかと思えますので、そのときは声をかけてください。それでは、いつまでもお元気で、さようなら…。